

都技生涯研修 応用講習会Ⅱ

[講師及び演題]

講師 石澤 亮一先生……歯科技工所における経営戦略とスタッフ教育

[定員]

60名

[受講費]

無 料

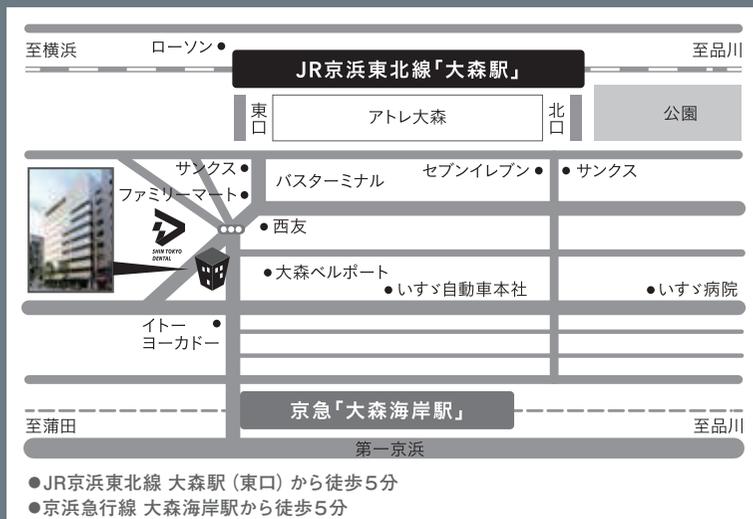
[受付申込方法]

当日受付（申込不要）

[会場]

新東京歯科技工士学校

東京都大田区大森北1-18-2



[お問い合わせ]

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F

FAX : 03-3576-5615

都技生涯研修

令和元年度

応用講習会Ⅱ



Tokyo master course Science Lecture

[開催日時]

令和元年 6月29日(土)

受付 12:30

開始 13:00 → 終了 17:00

[会場]

新東京歯科技工士学校

[講師]

石澤 亮一先生

[演題]

歯科技工所における
経営戦略とスタッフ教育



一般社団法人 東京都歯科技工士会

歯
科
技
工
所
に
お
け
る
経
営
戦
略
と
ス
タ
フ
教
育

歯科技工業界は今、まさに変革期的な状況下にあると思います。

作業のデジタル化と歯科技工士の不足がかつてないほど顕著化しているからです。

CAD/CAM冠の保険導入によりラボにおけるデジタル化が一層進み、作業の効率化に対しても効果的であるというプラスの部分と、導入には初期投資、ランニングコスト、材料費も格段に増えるというマイナス部分もみられます。

さらにはラボ各社がデジタル化に舵を切った結果、マーケットでは技工物の低価格化（レッドオーシャン）も起こるべくして起きている現象であると言えます。

また、歯科技工士不足は、ラボ運営上かなり深刻な事態となっています。仮にスタッフが辞めてしまえば残ったスタッフにそのしわ寄せがきてしまうという悪循環を生む可能性があるからです。

歯科技工士として患者の健康に献身的に尽くしてきた結果、長時間労働などにより自らが不健康になってしまうという皮肉な結果となってしまっは本末転倒です。

健康創りのお手伝いをすべき歯科技工士が健康で物心共に豊かに暮らしていけるよう、自ら努力し労働環境を良くしていく必要があると考えます。

本会では、このような変革期において歯科技工所は、「どこに向かうべきか」「何をすべきか」普遍的なお話は難しいかもしれませんが、私見の先に皆様と業界の課題を共有できるよう努めて参りたいと考えております。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

■講師略歴

石澤 亮一

[いしざわりょういち]



- 1982年 愛歯技工専門学校卒
- 同年 (株)伊集院ポーセレン研究所 入社
- 1987年 東京都中央区京橋 金子歯科医院勤務
- 1989年 新潟市西区 (株)シンワ歯研 入社
- 2003年 同社代表取締役 就任
- 同年 山形県鶴岡市 (有)ウィルデンタルラボ開設
- 2010年 新潟大学大学院 技術経営学科 入学
- 2013年 同校卒業
- 2015年 (株)シンワ歯研 関東支社開設

主な所属

- 新潟県歯科技工士会
- 日本歯科技工所協会 東支部学術理事
- 日本有床義歯学会 指導技工士
- 日本顎咬合学会 会員
- ダブルクリック 会員
- ITIメンバー
- BPSメンバー